

— News Release —

各 位

2018年7月30日
日本アジアグループ株式会社

シンガポールPrimusTech社の株式取得について

～シンガポールでの事業をスタート～

グリーン・コミュニティの実現を目指す日本アジアグループ株式会社(コード:3751、本社:東京都千代田区、代表取締役会長兼社長:山下 哲生、以下「日本アジアグループ」)は、シンガポールにおけるPrimusTech Pte. Ltd.(本社:シンガポール、Chairman:Michael Ong、以下「PT社」)の株式を取得し、筆頭株主になりましたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 株式取得の目的

日本アジアグループはPT社をシンガポールにおけるプラットフォームと位置づけ、JAG傘下の国際航業株式会社(代表取締役会長:呉文繡、以下「国際航業」)と協働でスマートシティ事業を加速させるためにコラボレーション・アグリーメントを締結しました。

これにより、国際航業の日本国内で長年培ったGISなどの地理空間情報分野の経験、ノウハウ、さらにはAIなどの最新技術とPT社の技術・サービスを融合させることで、効率性、利便性のある付加価値の高い施設管理サービスの提供が可能となります。具体的には、各種センサーに人やモノの位置情報を取得するLBS機能を加え、PT社が提供する「統合型スマートビルマネジメントプラットフォーム」を高度化させます。また、施設管理サービス以外にも計測技術を活用した建物やインフラの点検・モニタリング、エネルギーマネジメント、省エネに資するサービスなどの事業拡大を図ります。

当面はシンガポールを中心にビジネスを行い、近い将来にはASEAN市場へ展開してまいります。

2. PT社の「統合型スマートビルマネジメントプラットフォーム」

シンガポールではSmart Nation、Smart Cityの政策に基づき、効率的な基礎インフラ管理、施設運営等の先進的な取り組みが積極的に行われています。そのような市場において、25年の実績、優良な顧客基盤ネットワークを持つPT社は、先進的な技術および豊富なIT人材を有しています。PT社の主力製品である「統合型スマートビルマネジメントプラットフォーム」はICTやIT技術を駆使し、独自開発されました。この製品にはモバイルプラットフォームやデータ解析機能が付されており、シンガポール・チャンギ国際空港をはじめ、シンガポール国内およびその周辺国における鉄道駅、下水処理施設、病院、半導体部品や製薬工場、大型商業施設等の設備管理に採用され、水、電気、空調といった多岐に渡る施設管理を行ってきた実績を有しています。

3. 株式取得の概要

- (1) 取得株式: PT社の全株式の60%をJAGが取得
- (2) 取得日: 2018年7月25日

4. PrimusTech社の概要

- (1) 会社名: PrimusTech Pte. Ltd.
- (2) 住所: 31 Kaki Bukit Road 3, #07-01/02, Techlink, Singapore
- (3) 従業員数: 139名
- (4) 売上高: 19億5615万円(2017年)
- (5) 営業利益額: 4075万円(2017年)
- (6) ホームページ: <http://www.primustech.com.sg/home.html>



PT社「統合型スマートビルマネジメントプラットフォーム」SIRIUS イメージ図

【お問い合わせ先】

日本アジアグループ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部

TEL: 03-4476-8007 e-mail: press@japanasiagroup.jp URL: <https://www.japanasiagroup.jp/>